



■発行／公益財団法人 愛媛県スポーツ振興事業団

■愛媛県武道館

開館時間／午前9:00～午後9:00

休館日／毎週月曜日（月曜日が休日の場合は、直後の休日でない日）
年末年始

住所／愛媛県松山市市坪西町551番地

T E L / 089-965-3111

F A X / 089-965-3388

ホームページ／<http://www.ehimekenbudoukan.or.jp>

予約システム／https://www.pref.ehime.jp/s_yoyaku/servlet/Top

第五十四号

TOPIX

- 1 令和4年度の展望(銃剣道)
- 2 ハイブリッド弓道大会について(弓道)
- 3 愛媛のアイドルによる合気道体験イベント(合気道)
- 4 令和4年度 愛媛県武道館 一般向け武道体験教室(合気道編)

銃

剣

道

Jukendo

令和4年度の展望

執筆／愛媛県銃剣道連盟 事務局次長 中川 颯人

コロナ禍により、昨年、および一昨年は多くの大会・遠征の中止を余儀なくされておりました。しかし、今年度は3年ぶりの開催となった第66回全日本銃剣道優勝大会への出場、ゴールデンウィークにおける高校生の強化合宿への参加が叶いました。特に、全日本銃剣道優勝大会においては、女子の部において団体準優勝を果たすなど、幸先の良いスタートを切ることができました。また、防衛省第2部においても青年男子がベスト8に進出するなど国民体育大会につながる成果を上げることができました。

少年は成果を上げられなかったため、少年の育成が課題です。また、競技人口を増やすことも重要な課題となっております。今年度、東温高校には男子2名が入部し、7月に行われる第34回全国高校生銃剣道大会に向けて強化練習を行っております。2年生は2名ですが、冬に2名ともケガをしてしまったことや大会等がしばらくなく、モチベーションの維持が困難であるなど、思うようにいかないこともありました。しかし、全日本銃剣道優勝大会での敗退や、GWの高校生合宿で全国レベルの高校生たちの実力を目の当たりにし、勝ちたい、強くなりたい、という気持ちが高まってきました。

最大の目標は国民体育大会でもう一度優勝することです。そのためには四国ブロック予選を突破する必要があります。最も強力なライバルとなるのが高知県です。去年の全国高校生大会では個人、団体ともに優勝しており、勝利することは非常に困難です。しかし、この難関を突破することが叶えば、国体での上位入賞も視野に入るのでないかと考えております。現在は練習試合も可能になっており、松山駐屯地の自衛官の方々の協力を仰ぎながら強化を図っていく所存です。

大会で成果を上げるためには部員の強化とともに、部員の確保が急務となっております。今年度も1年生が入部してくれましたが、銃剣道は3名で1個チームとなるため、最低でも1学年で1個チームが作れる程度に部員を確保したいところです。

今年度は大会等で成果を上げることともに、武道体験フェスタ、親子武道体験教室等を通じて銃剣道の魅力を発信し、一人でも多くの競技人口増加に務めていきたいと思っております。



▲第66回全日本銃剣道優勝大会(東京 日本武道館)



▲GW高校生合宿(香川県)

ハイブリッド弓道大会について

執筆／愛媛県弓道連盟 理事長 大谷 正

弓

道

Kyudo

弓道競技は、的の大きさ、的までの距離、的の高さが決められており、どこの弓道場であろうと条件が同じであるため、この利点を生かし令和2年度から県内9道場をオンラインで結び、大会を開催してきました。大会開催の制限が緩和されつつあり一同に会しての開催も可能となりましたが、まだまだ安心して旧来のような大会を開催するには抵抗があり、テストパターンとして参集形式とオンライン形式を組み合わせたハイブリッド弓道大会を、令和4年5月22日に第43回県下宇和島弓道大会として開催しました。

主会場を宇和島市丸山公園弓道場とし、参集者23名、ラインを使ったオンライン参加5箇所49名、計72名の参加となりました。開催日前日までにライン担当者の確認を済ませ、開始30分前にラインの最終チェックを行いました。伝達事項もラインで行うためマイク放送や張り紙も不要となります。開会式では、宇和島に参集した者とパソコン画面上の参加者が同時に礼を行う様がオンライン大会らしく感じました。

通常競技では的中した数が同じ場合は、その者同士で再試合を行います。今回は試合時間を短縮するため、ルールとして団体戦は年齢合計の低いチーム、個人戦は年齢の高い者を上位とすると決めており、再試合はありませんでした。競技は6会場で同時進行するため進行がスピーディーです。しかしこれを集計する担当者にとっては、目の前の実試合とオンラインで届く結果を集計する事に手間取りま

すが、これを加味してもなお通常の大会の半分程度の開催時間で終了しました。

今回オンラインで参加した者は、新型コロナのため、遠くて会場まで行けないため、半日なら参加できるため等、様々な理由があります。分散であるがゆえにイコールコンディションではありませんが、参加者全員が試合の緊張感を体験し、勝敗に一喜一憂し、明日への糧となったことは喜ばしいことであります。

なお、オンライン大会の要は通信環境であります。愛媛県総合運動公園をはじめ愛媛県内全ての弓道場にはWi-Fi設備がなく、かつ電波状況が悪いところばかりで、個人のスマホがかろうじて使える環境での運営でした。オンラインを使った分散開催は新しいスタイルとして今後も継続が見込まれるため、公営道場でのWi-Fi環境の整備が望まれるところです。



▲県内各弓道場で分散開催されました。(大州市弓道場)



▲開会式での一同礼の図。各道場からの映像が流れています。



▲Lineを使い送られてきた試合結果を集計します。



▲宇和島市丸山公園弓道場では23名が競技を行いました。



▲集計ブース

愛媛のアイドルによる合気道体験イベント

執筆／愛媛県合気道連盟 理事長 沖浦 達幸

令和4年5月20日、愛媛を代表するアイドル活動を行っているグループ・リメリーのメンバー2人が、初めて合気道を体験するという企画のため、武道館柔道場に現れた。合気道は未経験という若い女性が、実質1時間という限られた練習時間でどのくらい合気道的動作を習得できるかに挑戦することとなる。合気道歴30年を超えるベテラン指導者達も、柔道場で初めて彼女達と対面した時には少し緊張感を覚えた。

とりあえず練習用の道着に着替えてもらい、怪我をしないよう、身体を十分にほぐすための準備体操をしながら、どういった練習が最も効果的かを思案した。合気道は、相手の力や自分の力は関係なく、基本的な動きを忠実に再現することにより、どんな相手にでも同じように技を繰り出すことができる。そこで、余計な動作は極力省き、最もシンプルな動作のみを集中して練習することにした。

まずは、「呼吸投げ」という基本的な技だ。合気道では、2人1組となり、それぞれが「取り(技をかける側)」と「受け(技を受ける側)」を担当し、互いに交代しながら同じ技を繰り返すのが一般的な稽古である。当日、2人には「取り」に専念してもらうこととし、「受け」は、経験豊富な当会の式段位の女性達に担当してもらうこととした。「呼吸投げ」は、最初に「取り」が片手を突き出し、それを「受け」が両手で掴むという体勢からスタートさせる。「取り」は手を掴まれたら、上体の力を抜いたまま、素早く相手の背後に足を滑らせ、次に両手を相手に被せるようにしながら身体を捻る。そうすると、相手は後方に倒れ込んで受け身を取らざるを得なくなるのである。一見単純な動作に見えるが、大切なことがある。焦って「取り」が腕に力を入れてしまうと、相手の腕の力とぶつかり、ギクシャクした動きになるのである。飽くまで力を入れないのがコツである。

最初に指導者が数回手本を見せ、それを忠実に真似してもらった。しかし、2人とも滑らかに技をかけることができるようになるまで大して時間はかからなかった。見たままの動きを素直に自分の身体で再現できる能力に優れているのだろう。予想より短時間で技を自分のものになっている。その要領で「四方投げ」、「小手返し」と、合計3種類の技を練習した。最後に、3種類の技を連続させることで、即席の演武を完成させることができた。

勿論、本来の合気道は、「取り」「受け」共に肉体的、精神的に激しくせめぎ合うといった稽古を行うものだが、「受け」と「取り」の技術が一定レベルに達するまでは、互いに相手の動きをフォローしあって、2人が力を合わせて一つの技を完成させてゆくという経過を辿る。

「取り」は「受け」のレベルに合わせて技を繰り出し、反対に「受け」は「取り」のレベルに合わせて受け身をとる。それを繰り返すことでお互いにレベルが上がってゆくのである。このような稽古を主とするため、合気道では一般的に言う「勝ち負け」という概念よりも、「負けない」を目指すこととなる。

約1時間の練習で、3つの技を覚えてもらったが、予想以上の出来映えに思わず周りも笑顔になり、何よりも記念写真を撮影する時の彼女たちの表情が笑顔で溢れていたのが印象的であった。指導者達も安堵した次第である。

毎回の稽古を笑顔で終える…これが合気道の稽古の良いところであり、日常生活においても大切なことである。合気道の稽古に参加する人たちは、敵・味方という概念を超え、「仲間」という存在となる。

今回、合気道体験をしていただいたリメリーのお二人も、多くの方々に笑顔を提供するため、今後益々活躍されることを祈念致します。また、このような貴重な機会を与えて下さった武道館関係者の方々に感謝致します。



令和4年度 愛媛県武道館

第4回
親子武道体験教室
(なぎなた編)

無料

礼に始まり、礼に終わる。

なぎなたは礼儀正しく、凛々しい武道です。

防具を着けて行う「試合競技」、防具なしで行う「演技競技」、音楽などのリズムに合わせて集団で演武する「リズムなぎなた」があります。気軽に親子で体験してみませんか？

- ※ 新型コロナウイルス感染症の拡大により中止の場合は、愛媛県武道館ホームページに掲載いたします。
- ※ ※武道館内は、他者と身体的距離（2m以上を目安）が確保できる場合を除き、マスク着用を推奨します。

令和4年 8月20日（土）10：00～11：00

場所： 愛媛県武道館 副道場

対象： 今年度4歳になる幼児～小学生（初心者）と保護者

定員： 先着10組程度

申込期間： 令和4年7月5日（火）9：00～
7月28日（木）21：00まで

全長 210～225 cm

— お問い合わせ： 愛媛県武道館 —

☎ 089-965-3111 📠 089-965-3388

✉ jigyo@ehimekenbudoukan.or.jp

